

発行所
新潟市川岸町二丁目
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇夫

- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繋と相互扶助
- 綱 領

ご挨拶

— 母校の更なる発展を願って —



同窓会長
渡辺 惇夫

秋冷爽快の季節となりました。同窓会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

平素は同窓会及び母校新潟明訓高等学校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき、衷心より敬意を表し感謝を申し上げます。お陰様で我が同窓会は二万五千有余名の会員数を擁し、年々活動実績を積み重ねながら母校の発展と相俟って着実な歩みが続けてまいりました。そしてその存在感も増し、内外に高い評価を得るに至りました。これも偏に会員皆様の日頃

の精進とご努力の賜ものであり、同時に、学校ご当局をはじめとする関係者の皆様のおかげとご支援とご協力のお陰であります。

ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

これからも我々は同窓会のより良い発展のために、母校新潟明訓高等学校の建学の精神と多くの先輩諸氏が築きあげ、育ててこられた明訓魂を継承し、同窓会としての誇りを持ちながら新たな決意をもって努力していかねばなりません。

ご承知のように我が母校は八十年余の歴史を有し、建学以来の伝統と実績を積み重ね

て発展をしております。その結果、同窓会には年代を問わず優れた人材も多く、各界各層において指導的立場で活躍をしております。このことは、今後の同窓会と母校の更なる発展にもつながるものと思っております。あとに続く後輩の皆様にも大きな励みとなり、自信と誇りを持って頑張っていたたく糧ともなるものであります。

さて、今新しい世紀—二十一世紀の初頭を迎えました。が、相変わらず社会経済状況は激動と混沌の中にあり、一段とその厳しさを増しております。そのような中で現在我が母校では新しい時代に対応し、今後の更なる発展を期すために、市内川岸町の地から同市北山の地への移転事業に取り組んでおります。今まで我が母校もいろいろな変遷を経て今日に至っております。

が、この事業は新たな新潟明訓高等学校の歴史を創る正に世紀の大事業であります。今後同窓会も含めて、学校関係者が一丸となって力を合

せ、この大事業に取り組み、その成功に向けて努力していかねばなりません。とりわけ我々同窓会の協力体制が不可欠であります。今後、募金活動等についても同窓会としての具体的な取り組みをお願いすることになります。何卒よろしくお願いを申し上げます。

ところで最近の、母校新潟明訓高等学校の在校生の皆さんの文武両道に秀でた活躍は、我々同窓生に対し新鮮な

笑いと笑顔



理事 伴 昭彦

同窓会員の皆様にはいつも変わらずお元気のこととお喜び申し上げます。

感動と勇気と自信を与えてくれており感謝しております。これ等、後輩の皆さんのより良い教育環境づくりに協力するの、我々先輩としての責務ではないかと思えます。我々は限りある人生であります。高石ともや氏（フォーク歌手）は五一才の夏にアメリカ大陸横断マラソンに出場したそうです。六カ国から一六人のランナーが参加、ロスアンゼルスからニューヨークまで六四日でゴールしたのですが、

ゴールしたのは六人、高石氏は第五位でしたが日本人最初のランナーという名譽もあつたのです。途中、ロッキー山脈（三、〇〇〇メートル）をこえ、砂漠を抜け、一週間大雨に遭ったりして大変だったというのですが、落伍したのは愚痴っぽい人や暗い人だそうですね。パニックになって怒ったり恐怖で怒鳴るようでは横断ランナーになれないのです。高石氏は毎日のレースで最下位になることが多かったが、常に一生懸命笑顔を作って皆に感謝しながらゴールしてました。六四日目にマンハッタンのビルが見えたとき、皆は大喜びしたのですが、「笑顔をいっぱいくれて有難う」とオーストラリアのランナーに言われ、又、「ともやのスマイルのお陰で大陸横断の旅がこんなに明るくなったよ、長い旅に笑顔は大切な燃料だよ」とも言われたそうで

今の日本は景気も悪く、いい話がありません。自然と暗い気持ちになり、顔付きも冴え

なくあります。そんなときでも、愚痴を言ったり怒鳴ったりせずいつも笑顔絶やさなければそれがその人の原動力となってくれます。高石ともや氏（フォーク歌手）は五一才の夏にアメリカ大陸横断マラソンに出場したそうです。六カ国から一六人のランナーが参加、ロスアンゼルスからニューヨークまで六四日でゴールしたのですが、ゴールしたのは六人、高石氏は第五位でしたが日本人最初のランナーという名譽もあつたのです。途中、ロッキー山脈（三、〇〇〇メートル）をこえ、砂漠を抜け、一週間大雨に遭ったりして大変だったというのですが、落伍したのは愚痴っぽい人や暗い人だそうですね。パニックになって怒ったり恐怖で怒鳴るようでは横断ランナーになれないのです。高石氏は毎日のレースで最下位になることが多かったが、常に一生懸命笑顔を作って皆に感謝しながらゴールしてました。六四日目にマンハッタンのビルが見えたとき、皆は大喜びしたのですが、「笑顔をいっぱいくれて有難う」とオーストラリアのランナーに言われ、又、「ともやのスマイルのお陰で大陸横断の旅がこんなに明るくなったよ、長い旅に笑顔は大切な燃料だよ」とも言われたそうで

す。
笑うということは、血液をサラサラにして健康状態をよくすることは医学的に証明されており、「笑い」の本やビデオやテープなどで毎日笑いつけて、体が全く動かなくなつた強直性脊椎炎を直したアメリカのジャーナリスト、ノーマン・カズンズ氏の話は有名です。

又、笑顔は日常の人間関係でも極めて重要であることは皆様御承知のところですが、笑顔に何らかの意味を持たせなければならぬというものでもありません。東京大学教授の船曳建夫氏は、アメリカ人は大いに笑う、何かを見つけては笑う、音楽会で音

御挨拶



学校長
青木 一男

同窓会員の皆様方には益々御健勝で御活躍のことと心からお喜び申し上げます。また、学校経営におきまして、御理解、御協力をいただいております。

が静まっているときに咳をした聴衆に指揮者が怒りの顔を向けたら、そのことに二、三人の人が笑い声をあげた、と言っておられました。そして、アメリカの老人は元気であり、よく笑う、アメリカ人は、四〇才五〇才位になると、引退後の老人生活に備え、金のみでなく、笑うためのエネルギーのため込みをはかるのではなからうか、これ位は見習つてもいいかな、とお考えだそうです。

確かに笑顔は人生のあらゆる面で快適にしてゆくようです。皆様と共に笑顔を忘れずに過ごしたいと思っております。

伴って、生徒の目的・希望・将来の展望にに応じて、その可能性を追求することができるよう、三つの類型を設けます。これによって同じ目標を持った仲間が集い、互いに刺激しあいながら自己を高め、将来の希望を実現させることをめざします。

I類は、授業時間数は週三十四時間です。一年次から文系、理系を意識して、それぞれの分野をじっくりと学ぶことができます。また授業時数が十分確保されるため、どんな大学入試にも対応できる類型です。特別活動はある程度制限されますが、一日おきの放課後および隔週土曜日は参加が可能です。

II類は、週三十二時間を設定します。受験科目数の少ない国公立大学や、あらゆる私立大学の入試に対応できる類型です。また、放課後や隔週土曜日の特別活動への参加も可能です。ただし、受験科目数の多い国公立大学を志望する人は二年または三年でI類を選ぶこととなります。

III類は、スポーツ推薦による入学者を対象にします。授業時間数は週三十時間で、放課後や土曜日の特別活動が十分できます。一般の私立大学や、特別活動の成果をもとにした国公立大学の受験にも対応できます。

以上の三つの類型に分けて、それぞれの目標に応じて、それぞれの学習スタイルで学んでいくこととなりますが、現在の校舎では、隔週の土曜日にも活用しなくてはなりません。冷房設備が整備されれば、夏季休業日に授業を行い、総ての土曜日を休みにすることができそうです。一日も早く新校舎での整った環境のもとで学習させたいと願っています。

新教育課程では、新たに教科「情報」の履修が必要となります。そのためにはコンピュータ教室を整備しなければなりません。当面三年生の段階で履修させることとしておりますが、平成十五年入学が三年生になる平成十七

年には整備が完了していません。また、大学入試センターでは平成十八年度入試からリスニングテストの導入を予定しております。これに対応するためにはL1教室の整備も必要です。新しい家庭科では、被服製作や食物調理から、育児や家庭看護に重点が移ります。そのための実習が可能な家庭科総合実習室の整備も必要となってまいります。この設立したところであり、同窓会員の皆様方のお一層の御支援をお願いして御挨拶にかえさせていただきます。

平成13年度

第14回首都圏新潟明訓会総会・懇親パーティー開催

天高く、馬肥ゆる秋、その言葉にぴったりの秋晴れの平成13年11月17日(土) 13時より「銀座日航ホテル」に於て平成13年度第14回首都圏新潟明訓会総会と懇親パーティーが

開催されました。当日は本会より渡辺会長、児嶋副会長(首都圏新潟明訓会担当)、平野副会長、学校側より、伴理事長、青木校長が出席されました。

まず初めに後藤会長より「二生懸命会員に対し、総会出席についてお願いをしているが、出席数が減っているの、皆様にもぜひ参加者が増えるよう力をお貸し願いたい」との挨拶がありました。次に、渡辺会長からは、同窓会の活動状況、新校舎移転に関する状況などが説明されました。また、青木校長より学校の文武両道の活動状況等の説明がなされ「昨年は止むを得ない事情で欠席しましたが今回は皆さんとゆつくり楽しみたい」と挨拶されました。続いて懇親パーティーに移り、伴理事長より挨拶があり、その後乾杯の音頭を取られ、一同高らかに乾杯いたしました。恒例となりました新潟より持参の「越の寒梅」も振るまわれ、青木校長も、父上、忍成先生の教え子の方々にかこまれ、ご満悦のご様子でした。

パーティーの間にはシャンソン歌手で明訓高校卒の湯川かすみさんのシャンソンが花を添えていました。一同充分懇談の後、恒例の福引きで会場がわいた後、中メとなり、奥田まゆ子さん、秋葉正樹さんの音頭で、最後に副会長の皆川治氏の閉会の挨拶があり、名残り惜しい中、閉会となりました。

新潟明訓高等学校

第五回 (昭和二十九年)

卒業生同期会開催

平成14年6月22、23日(土、日曜日)我々明訓高校第5回卒業生は、第15回目となる同期会を瀬波温泉「厚生年金ウエルハートピア新潟瀬波」に於て開催いたしました。その状況を、ご報告いたします。

私共の会は2年毎に開会いたします。6月22日は初夏の日差しが輝く中、集合場所である我等母校正門前に午後2時迄に続々集合しました。出席総人員29名内、送迎バスを利用するもの25名は、社内で楽しむ飲物と共に、バスに乗り込み、座るやいなや、すばらしい宴会が始まりました。我々幹事もこのバスの1時間半を、いかに楽しく、瀬波まで着くか、色々相談の上、酒の肴や地酒を用意し待っていました。車内は、学生時代となり、お互い肩を組み、酒を味わいつつ一路、瀬波温泉へと向いました。途中、「たまには、外の景色も説明しろ」という注文が出たので、小生がガイド替りとなり、まずいながら、笑いをさそうよう「ラフ」な説明をしながら進行的いたしました。宿泊場所へ着き、自家用車組と合流して

多かった。今回は大阪、関東、群馬県などより参加した人もいて、車中で、このままではせつかく来たのに物たりないとの声が出て、新潟へ着いたら、「お別れ昼食会」をやる事に決まり、駅前のそば処を会場とし、ビールを飲み、小千谷へぎそばを腹いっぱい食べて皆さん満足して帰路に着かれまして。忙がしかった二日間だったが、皆さんのお礼の言葉につかれもふきとんでしまいました。帰りに皆さんの「二年後も必ず会おうな」という言葉が印象的であった。

部屋割にしたがい、部屋に一担落ち着いてから入浴してもらい、午後5時30分より宴会場集合。早速写真撮影を行い、我が迷カメラマンも一枚全体写真を取り、寄附者へ送る資料としました。昨年13年には、同期より4名の物故者が出た事もあり、物故者への黙祷を行い、その後幹事代表の挨拶、本会々長より戴いた祝電の披露、同窓会及び母校、同期の物故者の報告等を小生が行い、次期幹事の披露、翌日の日程等の報告を司会者より行い、待望の懇親会へ移った。皆さん学生時代に語り、笑い、涙し、あつという間の2時間であった。続いて二次会場に移動し、カラオケルームで手をたたき、肩を組み、「メモメロ」の2時間でした。最後は、我々幹事サロンへ移動し、又もや2時間、新潟の銘酒を堪能し、皆様満足しておねね、されました。翌日、朝食はバイキングなので早くテーブルを確保し、朝酒をのみ、帰りのバスに乗り込み、村上市のイヨボヤ会館へと向かった。会館では村上名産品などを買い求めた人が

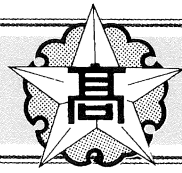
附金が10万円余となった事も末筆ながら付記いたします。(児嶋記)



会務報告

- 一、会議
 - (一) 総会
 - 平成13・10・19 (金) 18:30 於 ホテル新潟
 - 平成14・6・21 (木) 18:30 於 イタリア軒
 - 平成14年度同窓会総会に向けて協議
 - (二) 常任委員会
 - 平成14・9・19 (木) 18:30 於 イタリア軒
 - 平成14年度同窓会総会に向けて協議
 - (三) 正副会長会議
 - 平成13・10・10 (水) 18:30 於 学校役員室
 - 同窓会総会運営について協議
 - 平成13・12・12 (水) 18:30 於 割烹 網元
 - 同窓会総会についての反省会
 - 平成14・2・13 (木) 18:00 於 新潟東急イン
- 二、その他
 - 平成13・11・17 (土) 13:00 於 銀座日航ホテル
 - 首都圏新潟明訓会総会・懇親会が開催され渡辺会長、児嶋副会長、平野副会長の3名出席
 - 平成14・2・13 (木) 18:30 於 新潟東急イン
 - 学校の同窓会担当職員との懇談会

学 校 高 案 内



今年の合格状況

国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数	日本女子	3
北海道	2	北海道医療	1	法政	15
北海道教育	1	酪農学園	1	武蔵工業	3
東北	1	東北福祉	3	明治	13
宮城教育	1	国際医療福祉	2	明治学院	11
山形	2	獨協	11	立教	7
茨城	2	東京国際	1	正田	3
筑波	1	文京学院	11	早稲田	8
宇都宮	1	青山学	9	神奈川	13
群馬	2	亜細亜	5	関東学院	8
埼玉	3	桜美林	4	新潟国際情報	4
千葉	3	学習	5	新潟薬科	14
東京工業	2	北杏	3	新潟青陵	5
東京芸術	1	杏林	2	新潟医療福祉	13
東京学芸	2	国立音楽	3	金沢工業	2
横浜国立	1	慶応義塾	1	北陸	4
新潟	66	工学	2	中京	2
長岡技術科学	4	國學院	7	日本福祉	1
上越教育	1	駒澤	8	同志社	1
富山	1	芝浦工業	15	立命館	3
富山医科薬科	2	上和女子	2	関西	4
金沢	2	昭和	1	近畿	1
高崎経済	1	成城	1	関西外語	4
東京都立	1	成専	5	その他	87
横浜市立	2	大東文	23	私立大学計	481
新潟県立看護	7	川崎	4	短期大学	合格者数
都立看護	2	中央	3	筑波大医療技短	2
静岡	2	帝京	17	信州大医療技短	1
その他	8	東海	3	県立新潟女子短	19
国公立大学計	124	東京	10	新潟県立看護短	1
		東京	2	横浜市立看護短	1
		東京	1	青山学院女子短	1
		東京	4	跡見学園女子短	1
		東京	4	昭和女子短	2
		東京	20	共立女子短	1
		東京	6	東京家政短	2
		東京	10	新潟青陵女子短	1
		松	1	その他	22
		日本	35	短期大学計	54
		日本	6		

国公立124名

北大・東北・東工大はじめ新大66名と大成果 私大でも堅調な実績を積む

平成14年度の入試は昨年までの大きな流れを引き継いだ入試となりました。

受験人口の減少に伴い、現役中心の入試となり、実学主義、資格志向がさらに強くなっています。看護学科、医・歯・薬学科、福祉

学科などに人気が集まる傾向があります。又、大学改革の影響からロースクール構想・ベスト30構想などに受験生が敏感に反応し、法学部が全国的な人気となり、ベスト30に選ばれるといわれている大学に志望が集まる傾向になっていきます。長引く不況も国公立大学に志望が向かう形を続けています。

私大も全体的には易化傾向にあることは否めませんが、やはり上位の大学の難易度に大きな変化はなく、難しいこ

とに変わりはないようです。そんな中、大学の自身を変えて充実したものにしうという大学改革に一生懸命な大学が少しずつ受験生に認知され、今までのブランドにこだわった大学選びではなく、実際の講義やカリキュラムなどを調べた上での選択になってきているようです。入れる大学選択から行きたい大学選びになってきているといえるでしょう。

本校の今年度の入試結果は左の表の通りです。特に厳し

くなってきた国公立大学の入試の中、近年にない124名という合格者を出しました。北大・東北大・東工大を始め地元新大でも昨年より10名増の66名の合格者を出しました。私大では早稲田・慶応・上智・東京理科など大きな成果を出しました。これからは国公立の志望者が多く、やや浪人生が増えましたが、相変わらず現役で合格する傾向はあります。これらの結果も関係先生方の熱心な指導と何よりもそれに答え、三年間努力を積み重ね、頑張った生徒諸君の成果の現れと思えます。

療看護系が増えたこともあり、やや増加しました。本校の特徴として自分のやりたいものを探して全国に志望する大学を探す傾向にあります。これは国公立の合格者の約半数が県外大学で占められていることから分かります。今年には国公立の志望者が多く、やや浪人生が増えましたが、相変わらず現役で合格する傾向はあります。これらの結果も関係先生方の熱心な指導と何よりもそれに答え、三年間努力を積み重ね、頑張った生徒諸君の成果の現れと思えます。

今年の3年生も現在センター試験の出願・推薦入試と入試の本番を迎えています。センター出願も80%を超え、私大志望者もセンター試験利用の受験を考え、センター出願が増えてきています。

センター試験までほぼ3ヶ月、生徒一人一人が最後まで粘り強く努力を重ね、自分の目標が達成できますことを願っております。

修学旅行

九月三日からの三泊四日の修学旅行。二学期早々の行事で何かと心配したが、三日当り日朝の集合から六日の解散まで、行事に於ける明訓生のこころに懸ける素晴らしい行動により、大成功のうちに終わりました。

特に今年は、一学期に、原爆パネルの展示や、吉永小百合さんの詩を鑑賞して、事前学習を充実させた結果、当日の生徒達の目は鋭く熱心に見入っていました。また、修学旅行委員会の活動も活発で、旅行新聞を数回にわたり発行し、有意義な活動をしました。三泊四日の行程の主なポイントを載せておきます。

- 三日(火) 厳島神社見学
- 四日(水) 広島平和公園及び原爆資料館見学、被爆体験講話
- 五日(木) 京都市内班別行動
- 六日(金) クラス別行動

後日行ったアンケートには、生徒たちの多くが、修学旅行は有意義なものであり、これからも続けていくべき



だ、という感想を書いているのを見て、担当者も苦勞した甲斐があったと胸をなで下ろしております。

最後に、生徒達の感想文を紹介しますのでお読み下さい。

修学旅行でたくさん思い出ができたけれど、私が特に心に残ったことがある。それは広島島の被爆者の話だ。一番強く印象に残っているのは、被爆者の方が私達に「あなた達には幸せです。おいしいご飯が食べられて。本当に幸せです。」と言った事である。そこで当時の話を聞いて、原爆の怖さを痛いほど知った。食べる物もない、家もない、親をも失ってしまった。全てを失ってしまった。どんなに悲しみを背負っても、生き抜いてきた精神力はとてつもないと思つた。そうして、彼ら

は被爆者という受けた側にしか分からない痛みを語り継いで私達に伝えてくれている。私達に何かできる事はないかと考えた。被爆者の方は、「自分の身近にできる事をやりなさい。」と言つた。それは大きなことではなく、きちんと宿題をやるとかそういう事だった。けれども、どんな小さな事でも一生懸命にやれる事をやっていく事が大切なんだと思つた。そして、もう二度とこの様な過ちの歴史を繰り返さないようにする事がこれからは生きていく私達にできる事だと感じた。

二つ目に心に残つた事は、友達の大切さである。四日間、友達とたえず笑つていた気がする。友達がいたから何倍も修学旅行が楽しかつたのだらう。そして時には友達の涙も見た。友達の弱い所もいい所も見て、更に仲が深まつたと思う。楽しかつた思い出や共通の思いを感じた仲間をずっと大切にしていきたいと思つた。

漫画や写真でしか見たことがなかつたモノが目前に止まつていて、私は正直驚いた。それは京都の街に本当によくなじんでいた。そのモノとは人力車である。一度は乗つてみたいと思つていた私は、お財布と相談ということで人力車の運転手のお兄さんに話しかけてみた。お兄さんはとても気さくで親切に説明してくれた。さらに、そのお兄さんと話していた五十歳位の白ひげの人が、「人力車は一生に一度は乗つた方がいい。人力車は違う視点から物事が見れる。」などと言うものだから、私は班の人にわがままを言つて乗ることにした。班の皆様ありがとう。この場を借りてお礼を言います。二人乗り二台、一人乗り一台で人力車は永観堂近くから私たちの班の五人を乗せて出発した。

降りた後にステッカーをももらった。これを四枚集めるとお兄さんたちが着ているTシャツをもらえるとのことだつた。そのTシャツには「偉」と大きくプリントされていた。人と車。まさに人力車を表わす字が示されていた。すごくいいと思つた。人と車さえ融合できる京都の街に奥深さを感じた。わずか十五分ほどの体験だったが、これが私にとつてはどんな世界遺産よりステキな思い出になった。

平成十四年度 明訓祭

『華美(はなび)く大輪の花を咲かせよう』

「鮮やかな花火の色は一人ひとりの個性である。個性をあつめ、心に開化させよう、永遠(とわ)の花火を。」というサブタイトルがついているメインテーマは、文化委員会が中心になって決定します。今年、彼らがこのテーマに込めた想いは何だったのでしようか。

二十日、昨年に引き続き新潟市民芸術文化会館(りゅうとびあ)にて特別文化行事が行われました。医師であり冒険家の関野吉晴氏に「グレートジャーニーの旅から」と題して講演をしていただきました。関野氏はアフリカで誕生した人類がアメリカ大陸まで拡大していった5万キロの行程を自らの腕力と脚力をたよりに邁行する旅を十年かけて達成しました。事前学習で夏期休暇に旅を紹介した英文を

全校で読み、またテレビ番組で見ていた生徒もいて、期待は高まつておりました。スライドでは、自然に密着した生活を送る人々の姿や秘境と言われる美しい景色に目を奪われる、超人的な厳しい旅であるうに事も無げに話す関野氏に圧倒されるばかりでした。これから明訓を卒業してゆく生徒たちが自らのグレートジャーニーを求めて世界へ旅立つていくことを祈るばかりです。

二十一日朝、後庭に三十クラスの垂れ幕が色鮮やかに飾られました。

総合展示では、数多くの優勝旗や賞状に加え、新たに球技大会のユニフォーム展示も行いました。進学概況も紹介され、今年も文武両道の明訓魂に溢れていました。

一年生の芸術展示・合唱コ



「明訓大賞」作品 (3年6組)

地でもの新年の新年後数年後住せす、響に安字と反この数しかし、ることを迎えることができ

ンクールでは一年生の直向きな姿を見ることができました。リパティススクエアや部活動発表ではステージと客席が一体となつて盛り上がり、後庭や体育館が熱気で包まれました。

教室演劇―一年二組「線香火」スライドを活用し、不思議な世界を演出しました。ステージ部門―二年五組「ゴレンジャー」ゴメラ」ステージ中を走りまわり観客を湧かせていました。

部活動報告

各部目覚ましい活躍

明訓祭の盛り上がりを持する為に明訓祭の新しい面を切り拓く必要があります。見る者に感銘を与え、全校生徒が楽しんで学ぶ現在の姿。さらに、地域に愛され、他校生・

中学生をも魅了する生き生きとした高校生活のアピールの場にするべく、生徒会執行部でも検討を重ねたいと思います。今後とも生徒へのご声援をお願いいたします。

【運動部】

◎陸上部

《県陸上選手権 7/20》21

・女子4×400M 第2位

・女子800M

・第6位 小出 詠子

・男子走幅跳

第8位 清田 達史

《国体予選陸上競技会 8/24》25

・男子走幅跳

第1位 清田 達史

・女子1500M

第4位 小出 詠子

・男子三段跳

第5位 紫竹 佑騎

《ナイター陸上 8/31

・女子1500M

第1位 駿河 麻貴

《新潟市陸上競技場》

・男子三段跳

第2位 本間 淑之

・男子走幅跳

第5位 渡辺 大地

・女子800M

第3位 小出 詠子

第2位 青木 麻由

・男子100M

第5位 渡辺 大地

・男子1500M

第7位 本間 淑之

《新潟地区秋季大会 9/12》13

・男子800M

第2位 本間 淑之

・男子走幅跳

第2位 清田 達史

・男子三段跳

第3位 紫竹 佑騎

・男子走高跳

第5位 坂井 健

・男子砲丸投

第5位 高木 拓也

・男子100M

第8位 渡辺 大地

・女子800M

第3位 小出 詠子

第8位 青木 麻由

《新潟地区秋季大会 9/19》20

・男子100kg級

第3位 阿部 圭吾

・女子63kg級

第3位 池端 葉

・女子48kg級

第3位 柘谷 萌絵

◎野球部

《北信越大会 5/29》6/3

1回戦 明訓 4-1 福井商業

2回戦 明訓 0-7 富山商業

《夏の甲子園県大会

7月 新潟県内各地

第3位

◎テニス部

《北信越大会 6/15》16

福井運動公園庭球場他

・男子シングルス

優勝 岩橋 祐介

・男子団体

ベスト8

《新潟地区秋季大会 9/2》3

・男子シングルス

ベスト4 野上 流星

・男子ダブルス

準優勝 野上・三浦組

《全国選抜大会県予選 9/12

・男子団体 準優勝

新潟市庭球場

《県高校選手権大会 9/21》22

・男子シングルス

優勝 野上 流星

《護国神社秋季弓道大会

9/15

・女子個人優勝 木村紗矢香

《北信越大会 6/15》16

福井県立武道館

《新潟地区秋季大会 9/19》20

鳥屋野総合体育館

・男子100kg級

第3位 阿部 圭吾

・女子63kg級

第3位 池端 葉

・女子48kg級

第3位 池端 葉

◎なぎなた

《県競技大会 6/4

・団体戦 2位

・個人戦

第2位 高橋 祐子

・演技の部

第3位 近藤 栄里・荒井 彩絵

《北信越大会 6/15/16

・団体戦 予選リーグ敗退

・個人戦 予選リーグ敗退

《全国総合体育大会 8/2/4

・予選リーグ敗退

茨城県太田第二高等学校

【文化部】

◎吹奏学部

《県吹奏楽コンクール 8/8

新潟県民会館

・金賞

《西関東吹奏楽コンクール 9/15

新潟県民会館

全国大会への道

男子テニス部

岩橋 祐介

僕達テニス部は今年も、団体でインターハイに出場することを目標に練習をしてきた。メンバーは去年とほとんど変わらず今年も行ける予定だったが、ここで思わぬアク

・銅賞

◎放送部

《NHK杯県予選 6/12

新潟市音楽文化会館

・アナウンス部門

第1位 広川 千絵

・ラジオドキュメント部門

第1位「ホネネ場」

・創作ラジオドキュメント部門

第1位「ありきたり同盟」

・ラジオドキュメント部門

第3位「もう一度大空へ」

野鳥保護にかける思い」

◎囲碁部

《全国高校選手権大会

7/23/25 日本棋院

・男子個人戦

第6位 岩崎 大祐

《全国高文祭神奈川大会

8/9/10 平塚市総合体育館

・男子個人戦

第5位 岩崎 大祐

シデントが発生してしまつた。何とNo.2の二年生が手を骨折してしまつたのだ。それによつて僕のダブルスも出場できなくなつてしまつた。そして、案の定、大会が始まると、序盤から一本とられて、苦戦しながら勝つていった。準決勝もギリギリの大接戦を

二年生が頑張つてものにし、何とか決勝まで進むことがで

きた。そして決勝の相手は去年と同じ東京学館。しかし、準決勝で全精力を使つてしまひ1対2で破れてしまつた。試合後に、二年生が涙を流して悔やしがつたが、この気持ちを忘れずに来年こそは団体でインターハイに行けるよう頑張つてもらいたい。話は変わつて、僕個人としては、シングルスでインターハイに出られることになつた。北信越でも優勝して全国でシードが付くことになつたが、何とついたシードはよかつたのだが、組み合わせを見ると、一回勝つとまだテニス人生で一度も自分が勝つたことのない奴と当たることになつてしまつた。そしてインターハイも始まり、予定通り、一回戦は順当に勝ち進んで例の相手と当たつた。自分はもちろん勝つつもりでやつたが、負けてしまつた。とても悔やしかつた。だが僕のテニス人生はこれで終わったわけではない。むしろ今から頑張りたいと思う。最後に学校の先生を初め、応援して下さいの方々、本当にありがとうございます。

女子テニス部

柳川 悠木

私達女子テニス部員は、去

年の夏、先輩が引退してから新メンバーとしてインターハイ団体出場三連覇の夢をかけて、日々努力してきた。皆で集まつて何度も意見を出し合つたり、合同練習や交流試合をしてお互いの意識を高め合い、レベルアップを計つたりと、メンバー全員で力を合わせてきた。しかし、惜しくも準決勝で敗退してしまい、団体出場三連覇の夢を実現することができなかった。個人戦はダブルスとシングルス、共に出場権を獲得した。ダブルスは、長崎県の向陽高校と対戦。相手のコンピネーションの良さが自分達を上回り、二人の持ち味を出しきれないまま敗退してしまつた。一方シングルスは、強豪と呼ばれる福岡県の柳川高校との対戦。私は完全燃焼すべく、未だかつてない猛練習(早朝、そして夜中までも)を自分に課した。強豪だからこそ自分がどこまでくいついて行けるか、勝負に出た。しかし、全国の壁は厚かつた。

剣道部

南部 竜太

この夏、僕たち明訓高校剣道部は夏の全国大会の舞台となつた茨城へと行ってきました。今まで僕たちはこの全国大会出場を目指して部員一丸となつて努力してきました。その結果、みんなの目標でもあつた男女団体戦出場という形で出場を決めることができました。一応僕も個人で出場を決めました。全国大会出場が決まった瞬間の興奮は今でも忘れられません。本当にこのメンバーで部活をやつて

なぎなた部

高橋 祐子

今年のインターハイの明訓からの出場は、個人の私一人となつてしまい、とても心ぼそかつたです。その反面、みんなの分まで精一杯自分のできるかぎりの力を出しきつてこようという決心もありました。インターハイの個人組み合わせを見て、私は、初めての出場の際に、去年の優勝校の人が同じ予選リーグにいたので凄く不安になりました。他校の出場者は、何年間も練習してきていて、高校に入學して何ヶ月も練習してない私にはかなわないかもしれない。でも出場するからには、やはり「勝ちたい」という思

きて良かったと思つた。そして、自分や部員全員の努力の集大成として臨んだ茨城インターハイでは、男女共に精一杯の力でぶつかり、全国の強者たちに明訓の剣道を示す事ができたと思います。全国大会を終えて、新たな充実感と共に、今までの努力が無駄ではなかつたという事を感じることができました。明訓高校で剣道ができて本当に良かったです。

いがふくらみ、その差が少しでも縮まるように、ただひたすらに毎日練習しました。私の目前にあるのは「一勝でもすること。」それに向かって努力することだけでした。

そして、インターハイ。自分の出場当日まで相手の試合を見る事ができました。去年の優勝校だけに、動きの速さ、打ちの強さは、他の出場校と比べても、その差は歴然でした。私からしたら本当に完璧で、それについて見とれてしまう程でした。

そして試合当日。第一試合目ということもあり、緊張もしていましたが、いざ試合場に入ると、その緊張も解け、落ちつき、集中することができました。それに、今までにないくらい体が軽く、動け、教わってきた技をたくさん出すことができました。結果は、時間内に勝敗が決まらず、延長戦。一対二の判定負け。次の試合は、あつという間に二本先取されてしまいました。

やはり全国の壁は高く、そこで勝ち抜いてゆくということとは、すごく難しいということを知りました。そして、私の全国でのレベルを思い知らされ、焦燥を感じました。でも、今まで教わってきたことを、十分ではなかったかもしれないですが発揮することができたので、成就感というか、達成感で満たされました。

インターハイに出場することができ、本当に視野を広げることができ、成長することもでき、多大な成果や感動を得ることができました。自分の力だけで、ここまで勝ちぬくことができたのではなく、先生方の御指導、先輩や後輩、仲間の協力で勝ち抜いていくことができたので、本当に感謝の気持ちで一杯です。

そして、私が味わうことができたこの感動を、後輩達にも味わってもらいたいので、日々の練習を怠ることなく努めて、頑張っていって欲しいと思います。

囲碁部 (男子) 岩崎大祐

私は高校に入学する以前から両親の影響で囲碁を打っていました。そのおかげで全国大会への出場という貴重な経験を数多く得ることができました。その中でも今年には選手権で6位、総文祭で5位という自分でも満足のいく結果を残すことができ、改めて今まで囲碁を続けてきて良かったと感じることができました。大会では極度の緊張と興奮があつたせいか、前日になかなか寝付けずにいて万全の体調とはいかなかったものの、大会を通じて出来た友達と

会ったことでリラックスして臨むことができました。対局を終えるごとに疲労と安堵感が交錯していたけれど、大会を終える頃には大きな達成感に変わり、しばらくはその嬉しきで心が一杯でした。

このような貴重な経験を通じて自分の中で今まで以上に囲碁と深く関わっていききたいという気持ちを強くすることができました。この気持ちを大切にして、囲碁の魅力をもっと追求できるようにしたいと思います。そのためにこれから自分の棋力の更なる向上を目指しているのと勉強していく中で自分を高めることにつなげていきたいと思っています。

囲碁部 (女子) 小林彩美

私は、明訓高校に入学して囲碁部に入り、そこで初めて囲碁のルールを教わりました。全くの初心者だった私ですが、囲碁の面白さと奥の深さ、そして対局すればするほど強くなれるといった魅力的な所に惹かれて積極的に部活などに参加し、全国大会に出場できるくらいにまで上達することができました。しかし、全国大会では、全く納得のいく結果を収めるこ

とができませんでした。団体戦で出場した全国高校囲碁選手権では、原田さんが一勝したものの、私は死活に失敗して負けてしまい、結果として一―二で負けてしまいました。続いて全国高校総合文化祭の囲碁部門に、新潟県選抜の三将として出場しましたが、一勝しかあげることができませんでした。全国大会を通じて、緊張感でいっぱい独特な雰囲気、他校の人たちとの交流や対局はとても貴重な経験だったし、いい思い出になりました。しかし自分の弱さを改めて思い知らされ、くやしい気持ちでいっぱいでした。

写真部 星山久美

今年の夏休みに横浜で行われた全国大会に、写真部は合宿もかねて行ってきました。全国大会だけにレベルが高く、それぞれの地域の文化の違いや、生活風景が感じられる写真が多く、とても興味深かったです。残念なことに、私の写真は賞を取ることができなかつたのですが、たくさん写真を見ることで、得るものは多く、良い勉強になりました。

最後に、団体戦で一緒に出場した原田さん、榎谷さん、指導してくださった先生方、先輩方、そして囲碁部のみなさん、本当にどうもありがとうございました。

今年の夏休みに横浜で行われた全国大会に、写真部は合宿もかねて行ってきました。全国大会だけにレベルが高く、それぞれの地域の文化の違いや、生活風景が感じられる写真が多く、とても興味深かったです。残念なことに、私の写真は賞を取ることができなかつたのですが、たくさん写真を見ることで、得るものは多く、良い勉強になりました。

終身会費納入者御芳名 (敬称略) 平成十四年八月三十一日現在

Table with columns for year (昭和二十八年卒 to 昭和五十一年卒), membership type (定期制5回, 全日制11回, 全日制21回, 全日制52回), and names (濱田昌晴, 本田隆二, 安達和夫, 飯島麻紀, 谷ちあき, 林尚人, 増井順子, 渡辺純, 蝦名香織).

2組 (5名) 飯島麻紀 谷ちあき 林尚人 増井順子 渡辺純

平成十四年卒
全日制53回

9組 (1名)	早川良平	中村拓也	竹田欽一	薄田芳裕	8組 (4名)	大野博子	7組 (1名)	本田ちひろ	6組 (1名)	中川麻理	5組 (1名)	山崎哲志	武樋優佳	梅田紅美子	市池友宏	4組 (4名)	山田剛	松田孝史	堀内亮佐	高橋愛	眞田敦子						
中田明佳	筒井隆浩	土屋陽子	竹内将	高橋涼子	霜鳥卓視	斎藤康史	近藤雄一	倉里実	狩野陽子	金多賀歩美	奥田顕子	岡田淳子	大嶋沙織	内堀美津子	稲垣智穂	伊藤愛子	石川慶基	荒井ちあき	安達真由子	1組 (38名)	堀恭子						
大山貴之	大島愛	上野裕太	上田遼	岩倉茜	今井大	石川祐一	五十嵐誠	2組 (35名)	渡邊祐三	渡邊江里子	與口聡子	山田和史	山口真理香	柳原裕貴子	生浦愛	堀内沙織	藤村舞	廣野麻美	廣澤久	早津雅世	浜田佳奈	長谷川悟	葦澤潤	中津留正道			
五十嵐巧	3組 (25名)	渡辺亜希	吉井茉美	松原幸恵	真島史枝	馬籠尚美	本間聡子	藤井純	福田江梨子	日野浦藍子	羽田野蘭子	島山佳奈	中村麻衣	土田雄一郎	田村友佳梨	田中良憲	高橋雅比古	高橋佑輔	鈴木尚希	笹口尚央	櫻井奈央	櫻井祥子	坂上勇紀	坂上まい	齋藤綾子	小柳陽平	
五十嵐高	阿部遼子	4組 (26名)	横山みか	山崎朝穂	諸橋卓	前田史織	樋浦麻美	春木佑允	羽田孝之	長谷川陽子	野村俊輔	中村円	長井睦美	田村悠樹	高橋郁子	鈴木智史	澁谷岳史	柴野佑香	坂井智哉	小林鉄平	川上了	川上あすか	太田まき子	大杉康人	植木友香里	今村奈津子	
内山由香	伊藤麻木子	5組 (33名)	吉岡達勇	山田優花	山田正則	山岸浩太朗	宮村敬太	樋浦可奈子	野内顕造	中戸茉由子	田邊真也	高橋円	鈴木真未子	鈴木貴史	新保聡美	塩野綾子	笹川竜太	坂爪彩子	齋藤彬	神田佳輔	鳴居朋子	内田孟仁	板垣圭将	石原翔太郎	石井望	池田高士	
矢部雄太	森山裕子	村岡なぎさ	宮島奈緒	三浦詩織	三浦瞳	増田奈緒子	舟橋周史	福永謙一	長谷川怜	新田美緒	富澤尚子	外川学	竹田麻里	高野昌彦	品田瑠衣	近藤久美子	小池由紀子	工藤裕希子	桐生典子	北村文	神田章	川崎祐介	柄澤清弥	小柳勝哉	小野里早織	江口千寿	裏田大悟
細野雅美	林晃	長谷川恭子	津野貴志	田卷雄介	鈴木一則	菅井麻衣子	渋谷明美	渋谷康男	佐藤友香	齋藤優	川崎敦史	亀山桂	勝尾俊彦	稲田愛	伊藤香織	石澤聡	石垣雅史	五十嵐亮	五十嵐政晴	秋山高思	青木真純	6組 (29名)	米倉みず希	芳井智史	山本和則		
佐野寛	佐藤三奈希	佐藤啓子	坂上志郎	齋藤太郎	小林里絵	牛腸正樹	小島緑	越野さゆり	古賀達郎	工藤玲	日下部直子	木村直人	木川裕也	貝瀬雅則	小見亜沙美	伊藤霞	井田真梨子	石井倫之	荒萌子	7組 (45名)	横山勇也	山田めい	山田真理	山田愛美	安田賢司	矢澤真奈美	
安藤圭祐	8組 (34名)	吉田昌弘	山田友美	山際悠樹	柳生田洋子	百崎美季	御代田到	宮西慶一	松井正志	本間貴一	原香奈美	野本卓之	長澤亮	長崎廣太	長井景介	寺澤健二	土田権太郎	玉木徹	田中幹二	武仲真吾	瀬野岳	菅原隆太	清水歩美	渋谷亮	篠田愛	志田野千佳	

宮崎 慧	松村 武 広	松岡 美 貴	本間 紗 織	星野 要	原 彬 寛	長谷川 敬 士	中村 航 洋	中平 悠	津野 あゆみ	武江 祥 樹	高橋 友 子	嵩岡 陽	茂野 裕 子	佐藤 静 香	佐藤 亜 紀	斎藤 友 美	古俣 絢 子	小林 紀 子	後藤 亜 弥	木村 直 人	河村 岬	河内 和 彦	加藤 智 史	小野 諒 子	大桃 結 花	大上 瑞 穂	梅原 麻 美子	
椎谷 肇	椎谷 菜 摘	佐藤 純 子	齋藤 香 奈子	小林 亮	小林 勇 登	小林 達 郎	小林 俊 次郎	小林 謙 太	小平 祥 子	小出 智 子	桐生 貴 大	加藤 久 人	笠原 美 佳	小野 恵 伍	大下 智 章	歌川 裕 輔	上野 寛 子	岩澤 拓 郎	伊藤 嘉 宏	青池 健 一	9組 (47名)			吉田 拓	山本 博 靖	山田 伸 明	柳澤 岳 宏	八木 聡 子
10組 (39名)	吉田 彩 亮	吉田 夏 人	山崎 真 美	諸橋 朱 美	宮村 徹	丸山 温	星野 恵	樋口 史 絵	樋浦 泰 宏	二瓶 理 恵	難波 明	梨本 郁 実	中山 修 一郎	中山 彩 子	中野 晶	戸田 健 太朗	土屋 大 悟	丹呉 直 紘	田村 壮 介	武樋 貴 奈	高橋 佳 弘	高橋 美 伶	高橋 正 成	関谷 大 樹	真保 朋 佳	白石 友 信		

6組 (1名)
小林 暁 子

3組 (1名)
濱屋 功

平成十三年卒
全日制52回

1組 (4名)
岡村 麻 里

斎藤 路 仁

藤田 彰 吾

松尾 一 利

平成十四年卒
全日制53回

2組 (7名)
五十嵐 莉 乃

伊藤 千 晶

江端 祐 子

川端 崇 史

木村 麻 衣

竹中 真 弓

伏見 麻 衣子

年会費納入者御芳名 (敬称略)



坂井 翔

小日山 千 絵

小林 美 田紀

小林 鉄 平

栗山 康 之

熊倉 彩 子

金子 大 輔

小柳 翔 太

小田 周 平

大坪 紫 乃

太田 恵 美

岩崎 理 沙

有田 巨

藤塚 心

不二崎 雅 史

原 淳 二

二瓶 伸 也

内藤 基 広

寺尾 隆 広

坪川 瑞 樹

坪井 優

塚野 淳

滝澤 泰 暁

鈴木 徹

鈴木 貴 子

重田 航

渡辺 みちよ

吉岡 信

山田 直 樹

山田 奈 緒

山岸 さお り

八子 美 沙

諸橋 彩 子

森川 一 章

武者 千 晶

向笠 勝 貴

松原 章

本間 正 洋

星 康 浩

堀井 悠 葵

廣田 和 弘

廣嶋 結

外山 知 子

常泉 仁 志

高橋 千 恵子

菅井 恵 美

笹川 雅 彦

坂下 ふみ 恵

木村 沙 織

市橋 陸

3組 (12名)

高橋 佑 実

鈴木 智 恵

6組 (6名)

後藤 洋 介

柄澤 さや か

門脇 京

今井 久 美子

阿部 万 里子

赤川 夢 子

4組 (6名)

増山 淳 也

佐藤 啓

小林 恵

小池 光

片岡 竜 之

8組 (5名)

片桐 明 生

7組 (1名)

奈良 明 日香

南須原 瑠 璃子

長井 陽 介

田中 晴 子

山崎 祐 介

廣田 亜 梨沙

鳥木 大 二朗

田村 陽 一

立川 芳 絵

崎村 文 子

近藤 みど り

石塚 清 香

池亀 佑 美

10組 (9名)

田宮 麻 美

平成十三年 会費納入状況

◎終身会費	定時制五回生	一名	五、〇〇〇円
	全日制十一回生	一名	五、〇〇〇円
	全日制二十一回生	一名	五、〇〇〇円
	全日制二十七回生	一名	五、〇〇〇円
	全日制五十二回生	二十三名	一一五、〇〇〇円
	全日制五十三回生	三十一名	一、七五五、〇〇〇円
◎年会費	全日制五十二回生	二名	二、〇〇〇円
	全日制五十三回生	五十名	五〇、〇〇〇円
◎入会金	本年入学者	四三六名	四三六、〇〇〇円
◎合計			二、三七八、〇〇〇円